



2025-26 年度  
福山西ロータリークラブ

## 例会情報

第1639回(23)

会 長 河 村 直 孝      幹 事   小 林 崇

クラブ会長テーマ



「 明るく楽しくみんなで奉仕 」

日	時	2026 年 1 月 27 日 (火) 12:30 ~
場	所	福山ニューキャッスルホテル
例会行事		点 鐘 ・ ソング 「 楽しい火曜日 」 「 四つのテスト 」 唱和 ゲスト・ビジターの紹介 ( 出席報告参照 ) 会 長 報 告 幹 事 報 告 出 席 報 告 S A A 報 告 スマイル 報 告 プ ロ グ ラ ム 情 報 そ の 他 報 告
その他情報		メークアップ情報 ( 来週分 ) メークアップ情報 ( 再来週分 ) 今後の行事予定 クラブ活動報告



## 【 会 長 報 告 】



皆様、こんにちは。本日も例会へのご出席、心より感謝申し上げます。最近街の至る所でSDGsのロゴを見かけるようになりました。一見すると、どこか遠い世界の目標のように感じるかもしれませんが、実は私たちのクラブが取り組んでいる活動こそが、SDGsの精神そのものであると私は感じています。

私たちが現在進めている3つの支援活動を、SDGsの視点で見つめ直してみましょう。

- **子ども食堂への支援** これは目標2の「飢餓をゼロに」や、目標1の「貧困をなくそう」に直結します。地域の子どもたちの心とお腹を満たすことは、次世代の命を守る最も直接的な奉仕です。
- **中学校吹奏楽祭りへの支援** これは目標4の「質の高い教育をみんなに」の一環と言えます。教科書での勉強だけでなく、音楽を通じて表現力や協調性を養う場を提供することは、子どもたちの豊かな人格形成、つまり「教育の質」を高めることに他なりません。
- **外国人留学生スピーチコンテストの支援** これは目標10の「人や国の不平等をなくそう」や、目標17の「パートナーシップで目標を達成しよう」に関わります。異なる文化を持つ若者たちが、言葉を通じて理解し合う機会を作ることは、多文化共生社会を築くための大切な一歩です。

こうして振り返ってみると、私たちは「SDGs」という言葉が流行する前から、地域の課題に真摯に向き合い、持続可能な社会のために汗を流してきました。

私たちは何か特別な「新しいこと」を始める必要はありません。今行っている奉仕の一つひとつが、実は世界の共通目標へと繋がっている。そう再認識することで、日々の活動により深い意味と誇りを感じられるのではないのでしょうか。

「超我の奉仕」という私たちの伝統的な精神は、今や世界が最も必要としている価値観です。これから、子どもたちの笑顔のため、そして多様性を認め合える社会のために、手を取り合って進んでまいりましょう。本日もどうぞよろしくお願いいたします。

## 【 幹 事 報 告 】



No.	内 容
1	
2	
3	

# 【 プ ロ グ ラ ム 情 報 】



## 《 SDGs についての卓話 》



【有限会社アサヒフィルターサービス】  
代表取締役 宮崎 基

### 《 わが社の SDGs 》

弊社は、2021 年 5 月にホームページ上に SDGs2030 を公表しました。同友会では、長年、県の政策委員長をしており、早い段階で SDGs については、認知していました。掲げなかったのは、SDGs が新しいものではなく、企業としては当たり前の理念だと思っていたからです。わが社の経営指針書を見れば、SDGs だらけでありこれをアピールしなければ仕事がなくなるという変な風潮に疑問を感じていました。

まあそんな変な風潮の中、やらなければならないこと、これからやることを整理して SDGs2030 として掲げました。中長期計画を立てるときも役に立ったのも事実です。

今、日本は高市政権のもと大きく変わろうとしています。特に、スタフグレーションの中、経済成長は、急務だと思っています。しかし、戦後、経済成長のもといろいろな弊害を出してきたのも事実です。そこで、経済成長とは何かを今一度問いたす意味で SDGs2030 の目標を設定したことは意味がある事でした。目標は 6 点に絞って掲げました。

#### 1.気候変動に具体的な対策をするためには何をするか

これについては①省エネ化 ②ペーパーレス化 ③環境配慮型商品の提供を進めています。

#### 2.働きがい重視した経済成長とはなにか

- ①働き方改革実践企業 ②若い世代の雇用促進 ③ディーセントワークの促進
- ④女性活躍社会の促進

#### 3.経済成長を進める中で、すべてのひとに健康と福祉を享受してもらうためにはなにをするか

- ①障がい者の雇用 ②健康管理ビジネスの展開 ③高齢化社会の課題解決

#### 4.新たな市場の創出とそのための技術革新をどう進めていくか

新たな価値観の創造により新たな需要を生み出す、そのための革新的な技術の構築

#### 5.責任ある持続可能な生産方式や消費活動をどう組み立てていくか。循環型経済へどうシフトするか 持続可能な生産方式や消費活動を通じて循環型経済にシフトしていく

#### 6.最後に、住み続けられるまちづくり、若者が定着してくれる魅力ある町を創出していくためには何を していくかを掲げ、その行動目標をそれぞれに立てています。これが、弊社の中長期計画であり、 SDGs です。計画を整理する意味では SDGs をつくことで非常に役に立ちました。

今や SDGs は、国を挙げて推し進め、まるで SDGs がなければ商売もできないような勢いですが、考えてみると SDGs が最も進んでいた国が我が国日本だと思っています。

ものを大切に作る心、誰にでも優しく接する心、助け合う心、勤勉な心、などそれらは誰に強制される出なく、子供のころから親から子へ子から孫へと受け継がれていく当たり前のこととして私たちの心の中にあると思うのです。

そもそも古事記や日本書紀に見られるように、天照大神ですら農業をしながら機織りの工場を経営していた。言ってみれば中小企業の女性経営者だった。まさしく、女性活躍社会の基礎をつくっているのです。つまり、日本ができた時から SDGs をやっていた。

また、鳥獣戯画のように動物たちも大切にしていた。縄文時代の遺跡からは、犬が死んだままの姿で掘り起こされている遺跡も多く見つかったことからわかります。

犬すらも家族として大切にしていたことが伺われるのです。自然を大切にし、自然の驚異も受け入れ、自然と共に生活してきたのが日本人なのです。

ここ数年、グローバルの嵐が吹き荒れ、脈々と流れ続けてきた日本人の心を置き忘れてきうに思うのです。「働き方改革」に始まり「LGBTQ」にみられる多様性の社会の構築、それらは、別に法制化や上から強制されなくても日本人の心があれば簡単に解決できるし、そうやってきたのが日本人なのです。私も兄も残業は大嫌いです。だから早く帰って家族との時間を大切にする。従業員にも同じ思いをさせたい。その心が生産性の向上を生む。

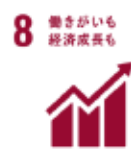
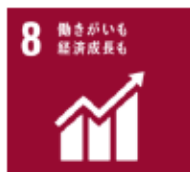
障がい者を雇用すると、効率ではなく「人を生かす経営」を学ぶことができると思っています。

今回の発表をまとめとするなら、日本人が、日本人として培ってきた思いで経営をすれば自ずと SDGs に近づくということです。誰に強制されるのではなく、日本人として自然に経営すればそれが SDG の理念につながるということです。

とにかく、日本は依存体質の国に成り下がりました。自主性を放棄し、国ですら明確な方針を示すことなく、国連や他国の顔を伺いながら言われるままにやってきた。はっきり言って SDGs を本気でやっているのは、世界中で日本だけです。外国から例のバッチをつけていると日本では変な宗教が流行っているとはやし立てられる。確かに SDGs の目標を掲げることは経営の勉強にはなりましたが、やらされてやっているのではなく、日本人として当たり前のことを自主的にやっているのだということを肝に命じるべきだと思っています。

先日、ダボス会議(世界経済フォーラム)で、アメリカのトランプ政権の商務長官であるラトニックは、世界経済フォーラムは終わったと宣言しました。特にヨーロッパについては自らバッテリーさえ創れないのに何故ネット・ゼロに同意するのか、産業なきグリーン政策主義なき気候目標、そして北京に力を外注しながらの道徳的ポーズはやめるべきだと云いました。

今や世界の潮流は大きく変わろうとしています。その中、日本人の経営者として、自主を持って、自社独自の SDGs をつくらなければならないと思います。





# アサヒフィルタサービス SDGs宣言

2021.5



3.9 2030年までに、有害化学物質、並びに大気、水質及び土壌の汚染による死亡及び疾病の件数を大幅に減少させる。



11.6 2030年までに、大気の質及び一般並びにその他の廃棄物の管理に特別な注意を払うことによるものを含め、都市一人当たりの環境上の悪影響を軽減する。



12.4 2020年までに、合意された国際的な枠組みに従い、製品ライフサイクルを通じ、環境上適正な化学物質や全ての廃棄物の管理を実現し、人の健康や環境への悪影響を最小化するため、化学物質や廃棄物の大気、水、土壌への放出を大幅に削減する。

## 全てのの人に健康と福祉を



現在、大気は、PM2.5、ウィルス、花粉、放射能、悪臭など多くの物質によって汚染されています。エアフィルタは、そうした物質を捕集しまた除去することでよりクリーンな空間を創造することが可能です。エアフィルタは、フィルタの後ろにある人の命や健康、また様々な設備の寿命を守ることができます。私たちは、「命を守る空間づくり」をコンセプトに掲げ、また、それを目指しています。

## 住み続ける町づくり



人口減少や高齢化が進む地方では、安心して住み続けられる町づくりが求められています。私たちは、大気のをより良いものにし、また、生産で出る廃棄物の管理を実現し、人の健康と環境への悪影響を最小限にします。

## つくる責任 つかう責任



大量生産、大量消費、大量廃棄の時代は終わり、良いものを必要なだけの時代に入ってきています。私たちは、環境に配慮した素材のフィルタを扱い、多品種、小ロット(1枚からでも可能)の体制をとってきています。また、さらなる付加価値をつけると共に、持続可能な生産方法と循環型経済を目指します。

# アサヒフィルタサービス SDGs宣言

2021.5



- 13.1 全ての国々において、気候関連災害や自然災害に対する強靱性(レジリエンス)及び適応の能力を強化する。



- 8.2 高付加価値セクターや労働集約型セクターに重点を置くことなどにより、多様な技術向上及びイノベーションを通じた高いレベルの経済生産性を達成する。



- 9.4 2030年までに資源効率の向上とクリーン技術及び環境に配慮した技術・産業プロセスの導入拡大を通じたインフラ改良や産業改善により、持続可能性を向上させる。

## 気候変動に具体的な対策を



2015年に「国際気候変動枠条約締約国会議」(COP)で合意されたパリ協定は世界の平均気温低下と、CO<sub>2</sub>排出量の削減を目標としています。そうした中、私たちは、省エネ化、ペーパーレス化に努め環境に配慮した商品の提供を行っています。

## 働きがいも経済成長も



日本では97%の人々の暮らしを中小企業が担っています。ただ、生産性が低く経済も低成長というのが実情です。そのような中「ひとを生かす経営」を目指し働き方改革の実践とディーセントワークの推進、若い世代の雇用促進、女性活躍社会の推進を実践していきます。

## 産業と技術革新の基盤をつくろう



現在、持続可能な社会の実現を目指して産業改革が行われています。そうした新たな市場に向けての革新的な技術開発は急務です。私たちは、新たな市場の創造とそれに向けた商品の開発を目指します。それこそが持続可能な社会の実現につながるものと信じています。

# アサヒフィルタサービス SDGs宣言

今まで

## 全てのの人に健康と福祉を



現在、大気は、PM2.5、ウィルス、花粉、放射能、悪臭など多くの物質によって汚染されています。エアフィルタは、そうした物質を捕集しまた除去することでよりクリーンな空間を創造することが可能です。エアフィルタは、フィルタの後ろにある人の命や健康、また様々な設備の寿命を守ることができます。私たちは、「命を守る空間づくり」をコンセプトに掲げ、また、それを目指しています。

## 住み続ける町づくり



人口減少や高齢化が進む地方では、安心して住み続けられる町づくりが求められています。私たちは、大気のをより良いものにし、また、生産で出る廃棄物の管理を実現し、人の健康と環境への悪影響を最小限にします。

## つくる責任 つかう責任



大量生産、大量消費、大量廃棄の時代は終わり、良いものを必要なだけの時代に入ってきています。私たちは、環境に配慮した素材のフィルタを扱い、多品種、小ロット(1枚からでも可能)の体制をとってきました。また、さらなる付加価値をつけると共に、持続可能な生産方法と循環型経済を目指します。

### アサヒフィルタサービスが目指すSDGs 2030

今までの経済成長は、大量生産、大量消費、大量廃棄を生み出し、その結果地球環境の悪化や様々な社会問題を引き起こしてきています。経済成長とは何かを今一度問いただし、心の豊かな社会の実現とそれを持続的に発展させるために、「アサヒフィルタサービス SDGs2030」を掲げます。



2021.5





【リノアーク株式会社】  
代表取締役 竹信 勝利



## リノアークグループのSDGs取組概要

「環境」「地域」「人」の2つの視点で推進するサステナビリティ経営



SECTION 01

# 環境への配慮

Environmental Initiatives

◎目指す姿

資源を無駄にしない循環型の家づくりと事業運営

▼重点目標

### ダンボールはリサイクルでエコに貢献

取組内容

- 現場・事務所で使用されたダンボールを徹底して分別・回収します。
- 再資源化率100%のダンボールを、新たな資源としての循環に貢献します。
- 保管・搬入搬出の社内統一を行い、回収効率と品質を向上させています。

期待される効果

関連するSDGsの目標

### 養生材の再利用とリサイクル

取組内容

1. 新築現場：養生として使用し、丁寧に回収・分別・分別を徹底する。
2. 回収・運搬：工事後に回収し、汚れを除去・分別・分別を徹底する。
3. リフォーム現場：作業の前後、養生を最大限まで再利用する。
4. リサイクルショップへ：再利用可能な物は売却、再利用できない物はリサイクルショップへ売却する。

期待される効果

関連するSDGsの目標

### 事務所はすべてLED照明で節電

取組内容

- 事務所の照明をLEDへ全量更新
- 事務所内の蛍光灯や白熱電球をすべて高効率なLED照明に切り替えました。導入率100%を達成し、オフィスの省エネ率を一歩高めています。

期待される効果

関連するSDGsの目標

### エアコンの効率的運用（帰宅30分前に停止）

取組内容

- 退社時刻の30分前にエアコンを停止する「30分OFFルール」を徹底し、無駄な電力消費を抑えます。
- 設定温度は夏28℃・冬20℃を標準とし、サーキュレーターを使用して室温調整をします。
- 定期的なフィルター清掃と機器点検を実施し、効率的な運用と電力消費の抑制を図ります。

期待される効果

関連するSDGsの目標

**環境への配慮**

### ゴミ分別の徹底

① 流通・事務所において色別コンテナと指示物による「使いゼロ」運用を徹底。月次で回収量を可視化し、廃棄物削減に向けた改善サイクルを回しています。

紙・紙ボール	プラ・金属	産業廃棄物
<b>対象品：</b> 梱包資材、事務用紙、カタログ、段ボールなど <b>処理場：</b> 指定処理場または古紙再生ルートへ100%リサイクル	<b>対象品：</b> 養生シート、梱包ラップ、空き缶、ペットボトル <b>処理場：</b> 洗浄・圧縮を行い、再生資源として事業場へ引き渡し	<b>対象品：</b> 木くず、石膏ボード、混合廃棄物、建築廃材 <b>処理場：</b> マニフェスト（産業廃棄物管理票）で適正処理を厳格管理

環境コース

**環境への配慮**

### ZEH・長期優良住宅など高性能住宅の普及促進

**ZEH（ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス）**  
 「断熱」「省エネ」「創エネ」を組み合わせた、家庭で消費するエネルギーの100%をエネルギー収支がゼロにすることを目標とした住宅です。

**長期優良住宅**  
 高品質にわたり良好な状態で使用するための措置が講じられた住宅。耐震性、耐久性、メンテナンス性に優れ、資産価値を高く維持します。

**導入のメリット（ハイライト）**

- 快適性の向上  
断熱性で夏涼しく、冬暖かい快適的な住環境
- 光熱費の削減  
自家消費で買入量を抑制し、家計の負担を軽減
- 脱炭素への貢献  
CO2排出量を大幅に削減し、環境保全に寄与

環境コース

**環境への配慮**

### 持続可能な資材の利用

**国産材の優先活用**  
 輸入材に比べ輸送距離が短く、輸送に伴うCO2排出量を大幅に削減します。日本の森林資源の循環利用にも貢献します。

**FSC認証木材の調達**  
 適切に管理された森林から産出された木材（FSC認証材）を優先的に使用し、世界の森林保全をサプライチェーンを通じて支援します。

**地域産材の採用で地元支援**  
 地元の木材を活用することで、地域の林業活性化を支援し、地域経済による環境負荷低減を実現します。

環境コース

**SECTION 02**

## 地域社会への貢献

Contribution to Local Communities

**目指す姿**  
 安全・安心で包摂的な住環境を地域に広げる

**重点目標**

- 住環境の改善
- 社会貢献

**環境社会への配慮**

### 災害に強い住宅（耐震等級3）

**最高等級「耐震等級3」の標準化**  
 防災室や警報室など、防災拠点となる建物と同等の耐震性能を持つ「耐震等級3」を設計・施工の標準としています。地震大国日本において、お客様の命と財産を守るための必須条件と考えています。

**標準計画 全棟実施**  
 設計・施工標準

**耐震性能 1.5倍**  
 耐震等級3相当

**確かな技術と継続的なサポート**  
 耐力壁のバランス配置や接合部の強化を徹底し、科学的根拠に基づいた高い性能を実現。さらに、地震後の点検・修繕体制も整備し、地域の平穏復旧とレジリエンス向上に貢献します。

環境コース

**環境社会への配慮**

### バリアフリー設計で多様な人にやさしい住環境

**取り組み内容**

- 段差の解消（フラットフロア）による転倒リスクの低減
- 家内への手すり設置と開閉しやすい引き戸の採用
- 広いすべりスリッパで移動できる廊下・出入口の滑り止め確保
- 家事も移動も楽になる回遊動線の最適化
- 誰でも使いやすいユニバーサルデザイン設備の導入

環境コース

SECTION 03

## 働きやすい 環境づくり

Improving Work Environment

〇目指す姿

心身ともに健康で  
多様な人材が  
活躍できる会社

▼ 重点施策

**職場環境への配慮**

### 労働環境の改善

長時間労働の削減、ワーク・ライフ・バランスの推進

- ・時間外労働の適正化・36協定遵守  
現場の工程管理をデジタル化し、無理のない施工スケジュールを推進、36協定を遵守し、機動的な高効率労働を実現しています。
- ・有給休暇の計画付与と取得率向上  
「休むことも仕事の一部」という意識改善を推進、計画有給制度の導入により、離職や欠勤との関係を確保しやすくしています。
- ・安全衛生教育とメンタルヘルスマネジメント  
定期的な安全大会の実施で労働災害を防止。また、ストレスチェックや相談窓口の設置により、心身の健康維持をサポートします。

**〇期待される効果**  
従業員が健康維持、ワーク・ライフ・バランスの向上、離職率の低下、生産性の向上による質の高いサービスの提供。

**職場環境への配慮**

### 住宅費補助・無添加社食で経済的・健康面を支援

経済的負担の軽減、健康維持の支援

- ・経済的支援：住宅費補助  
スタッフの経済的負担を軽減するため、住宅費の補助を一律で実施しています。生活の基盤となる「住まい」を会社としてサポートすることで、安心して働く環境を提供します。
- ・健康支援：無添加の食事提供  
従業員の健康増進と、毎日のランチ代という全員の負担の軽減を考慮し、無添加の無添加社食を提供。手軽に栄養バランスの取れた食事ができる環境を整えています。
- ・社会多様な人材が活躍できる環境  
女性や子育て中のスタッフなど、多様な人材がそれぞれのライフステージに合わせて活躍できるよう、柔軟な制度設計を行っています。

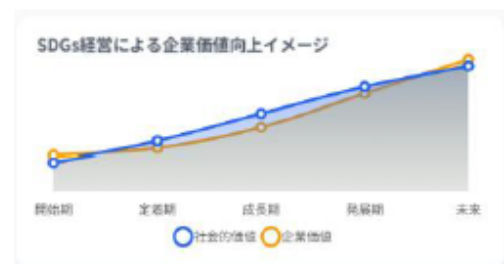
**〇期待される効果**  
・従業員満足度の向上  
・経済的負担の軽減  
・健康増進・生産性向上  
・ワーク・ライフ・バランスの向上



## まとめ：取り組みの意義とビジネス価値

Conclusion & Value Proposition

- 社会的価値の創出**  
環境負荷の低減、災害に強い地域づくり、そして誰もが安心して暮らせる包摂的な社会の実現に貢献します。
- ビジネス価値の向上**  
企業ブランドの向上、新規顧客や優秀な人材の獲得、コスト削減に加え、経営リスクの低減による持続的な成長を実現します。
- 次の一歩へ**  
KPIの定量化と進捗の公開、ステークホルダーとの対話、そして地域パートナーとの連携強化を通じて、活動をさらに深化させます。



### リノアークグループの重点取組目標



## 【その他報告】



### 《各種表彰等》

#### 【誕生日】



《 1月30日生まれ 塩川 裕樹 さん 》

#### 【皆出席】



《 連続35年 平田 恭彬 さん 》

## 【 クラブ 活 動 報 告 】



特にありません。

**UNITE  
FOR  
GOOD**

2025-26 年度 RI 会長メッセージ